

2005年度ナショナルチーム選考レース  
兼 アジア選手権代表選考レース  
レース公示

1. 共 催 財団法人 日本セーリング連盟  
北京オリンピック特別委員会
2. 後 援 和歌山県、社団法人和歌山県体育協会和歌山市、  
和歌山市体育協会、和歌山県セーリング連盟  
日本470級協会、日本レーザークラス協会
3. 協 力 ロイヤルパインズ株式会社、和歌山マリーナシティ株式会社
4. 大会役員
- |                 |        |
|-----------------|--------|
| 大会会長            | 山崎 達光  |
| レース委員長          | 名方 俊介  |
| レース副委員長         | 小松 一憲  |
| ナショナル・レース・オフィサー | 大庭 秀夫  |
| プロテスト委員長        | 川北 達也  |
| 計測委員長 470 級     | 恒川 信好  |
| レーザ-級           | 佐々木 共之 |
| 総務委員長           | 山田 敏雄  |
| 副 委員長           | 箱守 康之  |
5. 開催場所 和歌山マリーナシティ デインギーハウス
6. 開催期日 2005年 3月2日(水)～3月6日(日)
7. 競技種目 470級男子・女子、レーザ-級
8. 日 程
- |         |             |                 |
|---------|-------------|-----------------|
| 3月2日(水) | 10:00～14:00 | 受付              |
|         | 10:00～16:00 | 計測              |
|         | 17:00～      | 艇長会議            |
|         | 18:00～      | 開会式             |
| 3月3日(木) | 09:55 470級  | 第1レース予告信号時刻     |
|         | 10:00 レーザ-級 | 第1レース予告信号時刻     |
| 3月4日(金) | 09:55 470級  | その日の第1レース予告信号時刻 |

	10:00	レーザー級	第1レース予告信号時刻
3月5日(土)	09:55	470級	その日の第1レース予告信号時刻
	10:00	レーザー級	第1レース予告信号時刻
3月6日(日)	09:55	470級	その日の第1レース予告信号時刻
	10:00	レーザー級	第1レース予告信号時刻
	15:00	閉会式予定	
			引き続き、ナショナルチーム認定手続き

- 8-1 1日に実施するレース数は、4レースを最高とする。
- 8-2 種目別のスタートの順番は、変更する場合がある。
- 8-3 最終日のレース終了時刻は概ね13時に終了するようにする。

## 9. 責任の所在

本大会の主催者・関係各団体及びレース委員会は、大会前、大会中または大会後に受けた人的損傷もしくは死亡、または物的損傷に対するいかなる責任も負わない。また、スタートするか、あるいはレースを継続するかどうかを決める責任は各艇にある。

## 10. 適用規則

2001年～2004年「セーリング競技規則」(以下RRSという)と付則Nを適用する。尚、日本セーリング連盟規程、クラス規則、帆走指示書、レース公示等、各規則において、一致しない事項が生じた場合は帆走指示書を優先する。

## 11. 参加資格

以下の4項を全て満たしていなければならない

各クラス協会より推薦を受けた者。

2004年度(財)日本セーリング連盟のメンバー登録を済ませた者。

各クラス協会に登録されている者。

指定された期日までに別紙参加申込書による登録を済ませた者。

## 12. 参加申込

参加料(大会・受付時に提出) 470級 25,000円

レーザー級 15,000円

参加申込期日 2005年2月14日(月)

参加申込先 (財)日本セーリング連盟

住所 〒150-8050 渋谷区神南1-1-1岸記念体育館内

E-mail head@jsaf.or.jp

Fax 03-3481-0414

参加料送金先 UFJ銀行渋谷支店 財団法人 日本セーリング連盟

口座番号1192461

\*送金時にはクラス名およびスキッパー名を明記の事  
レートエントリー 期日を過ぎたエントリーについてはクラス毎の参加料に  
5,000円を加算する。

### 13. 計測

470級においては、計測登録証明書および有効なメジャメントフォームを持参すること。  
レース委員会は大会期間中に随時、艇、セールの計測を行うことができる。

### 14. 帆走指示書の交付

3月2日(水)10:00~14:00の受付終了者に交付される。

### 15. レースエリア

和歌山マリーナシティ沖

### 16. コース

帆走指示書に記載する。

### 17. レース及び得点方式

レースは最大11レースとする。

本大会は4レースの完了をもって成立とする。

各艇の総得点は全てのレースにおけるその艇の得点合計とするが、5レースが完了  
した場合はその艇の最も悪い得点を除外する。

### 18. 上告

規則70.4に従い上告を否認する。

### 19. 救命具

参加者は離岸から着岸までの間は50ニュートンの浮力を有する適切な救命具を着用しなければ  
ならない。

### 20. 2005年度ナショナルチーム及びアジア選手権代表候補の決定

2005年度ナショナルチーム

本大会の成績から以下のナショナルチームを決定する

470級男子 6艇

470級女子 4艇

レーザー級 4艇

アジア選手権代表候補

本大会の成績を基にアジア選手権大会代表候補を決定する

2005年唐津で行われた470級全日本選手権大会優勝者が、上位6艇に含まれなかった

場合は、本選考レースでの男子ナショナルチームを5艇とし、全日本選手権大会優勝者を追加する。尚、女子においても上記と同様とし全日本女子選手権大会の優勝者が上位4艇に含まれなかった場合は、本選考レースで女子ナショナルチームを3艇とし、全日本女子470選手権優勝者を追加する  
ナショナルチーム選手は、別途定めるナショナルチーム規定に従わなければならない

## 21. ドーピングコントロール

JSAF医事・科学委員会によるドーピング検査を実施する場合がある。

## 22. 支援艇(プライベートコーチボート)

- 22-1 主催者は本規定を何時でも変更することができる。
- 22-2 コーチボートは主催者にコーチボートとメンバーの登録を行わなければならない。
- 22-3 各コーチボートは主催者が用意した旗をはっきり分かるように掲揚しなければならない。
- 22-4 コーチボートは主催者が指定したエリアに係留しなければならない。
- 22-5 コーチボートは第三者責任賠償保険に加入していなければならない。
- 22-6 コーチボートを操縦するドライバー及び同乗者は、いかなる時も責任をもち、競技の公平さに影響を与えるような不適切な行動、危険な行為、不適切な行為を行ってはならない。
- 22-7 コーチボートはレース中、器具、物品、ブイ、マーク、それに類するいかなる物も海上に設置してはならない。
- 22-8 レース委員会は荒天やその他の理由によりコーチボートに救助の要請をする場合がある。その場合要請に従わなければならない。
- 22-9 当日のレースの最初の予告信号から、全てのレースが終了、延期、中止になるまでコーチボートはコーチボートゾーンに待機していなければならない。ただし、レース委員会が指示した場合はその限りでない。
- 22-10 レースとレースの間、またはそのエリアの全てのレースが、延期、及び中止されたとき、コーチボートは選手に必要なサービスを提供するためにレースエリアに入ることができる。次のレースが予定されている場合、コーチボートは、そのレースの予告信号が発せられると同時にコーチボートゾーンに退去しなければならない。
- 22-11 コーチボートは下記を除いて、電子機器を搭載してはならない。
  - \* マリンVHFラジオ(救助と危険な場合だけ使用可)
  - \* 計時装置
  - \* 手持ちの風速計、風向計
  - \* ボートとエンジンの安全操作上に限定される電子機器
  - \* カメラ
  - \* ビデオカメラ
  - \* テープレコーダーまたはデジタルボイスレコーダー
  - \* 電子安定装置付双眼鏡。
- 22-12 海上にいる間、コーチボートは上記24.11で許可したされたものを除き、無線通信または受信ができる機器を搭載してはならない。ただし、携帯電話はこの規定には含まない。

## 23.保険加入

参加選手は5,000万円以上の第三者賠償責任保険に加入し、3月2日(水)受付時に保険証券(写し可)を持参しなければならない。

## 24.

### その他

#### 選考レース全般の問合せ先

北京オリンピック特別委員会マネジメント委員会

箱守 康之 E-Mail [yasuyuki.h@city.omaezaki.shizuoka.jp](mailto:yasuyuki.h@city.omaezaki.shizuoka.jp)

#### 宿泊・艇搬出入・問合せ先

和歌山県セーリング連盟 中村和哉

メール [blau@js2.so-net.ne.jp](mailto:blau@js2.so-net.ne.jp) FAX 073 - 433 - 6173

急ぎの場合は 090 - 1890 - 9394 まで